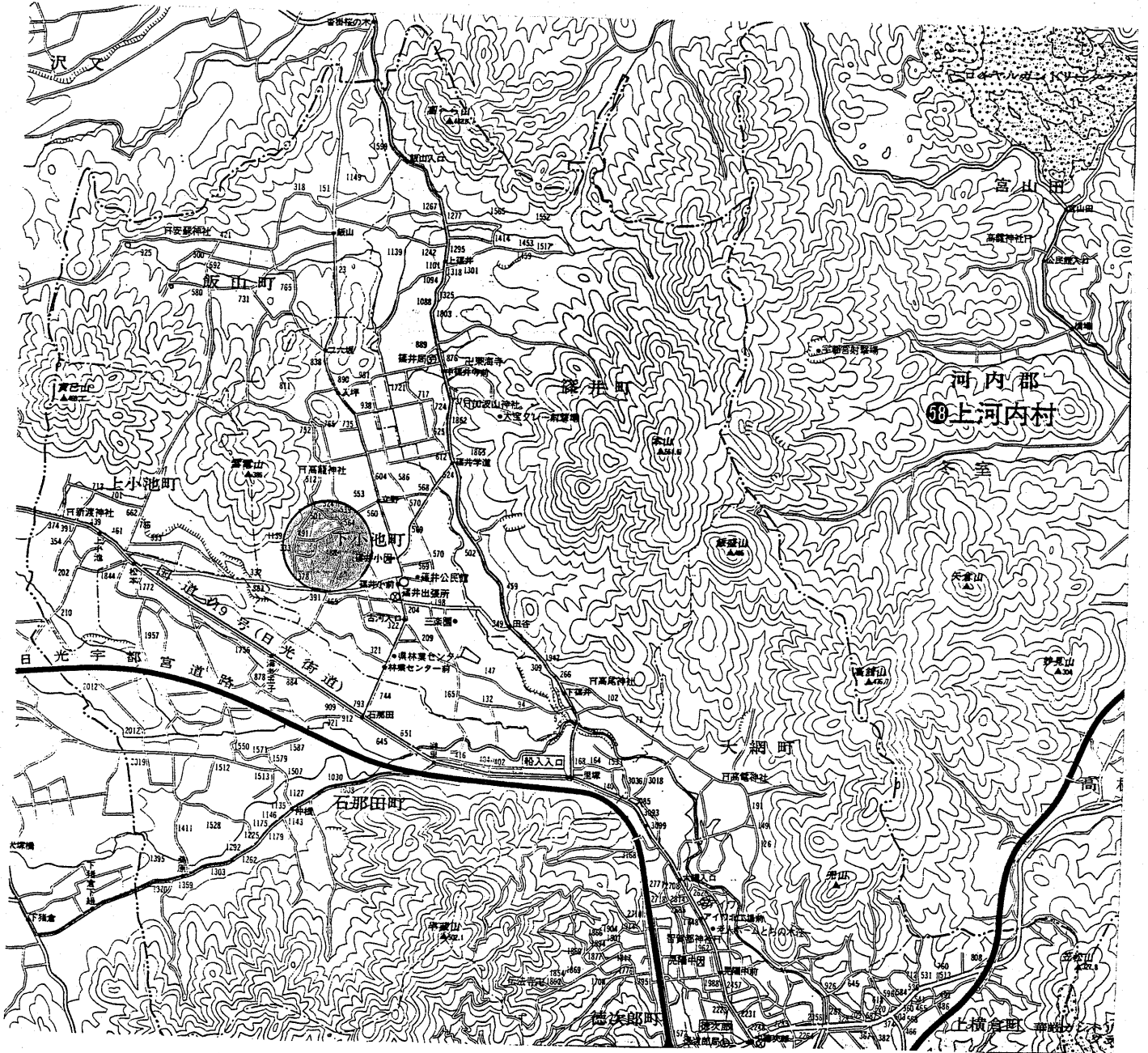


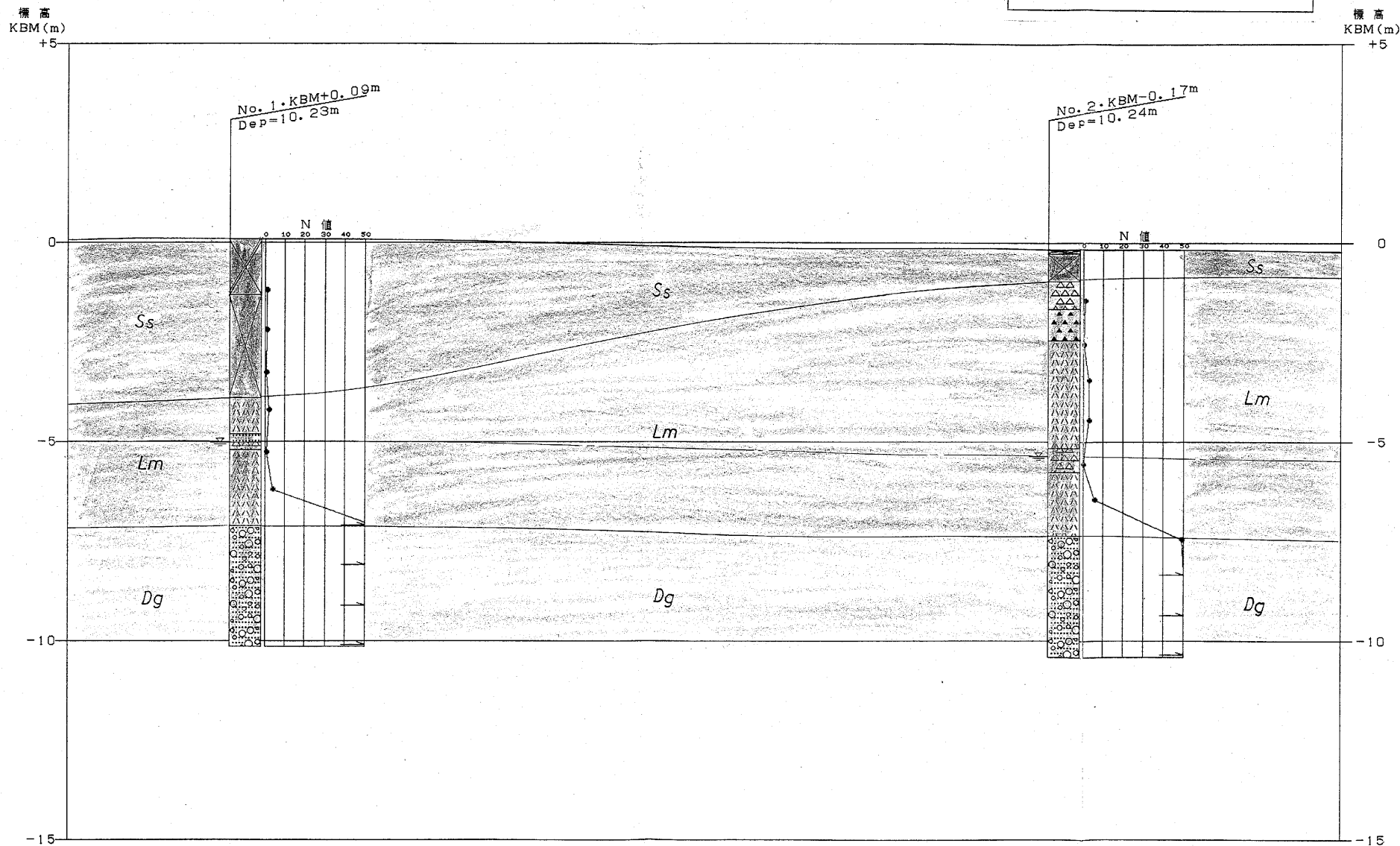
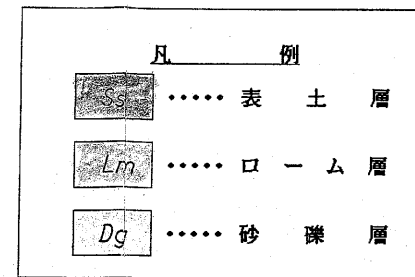
# 2. 案内図

S=1:45,000





# 想定地層断面図 (縮尺: $V=1/100$ , $H=1/200$ )



土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 (仮称) 篠井地区市民センター新築工事に伴う地質調査

調査年月日 / 年 7 月 / 2 日

調 査 地 点 宇都宮市下小池町464-2外

標 高 KBM+0.09 m

~ / 年 7 月 / 4 日

ボーリング孔: No /

機種 KR-100

孔内水位(自然(泥)) GL-5.10 m

調査責任者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験					採取試料・原位置試験						
				土質記号	土質名	色調	記 事	深 さ m	打撃回数 回/cm	10 cm ことの 打撃回数			74 $\mu$ m通過質量百分率(%)		試料 番号	深 さ m	方 法	
0																		
1		1.40	1.40		盛土	茶褐	シルト及びロームの混合土。含水-中位 下部若干植物根混入	1.15	1	1						1	1.15	標準貫入試験
2					表土	黒褐	シルト質土 含水-中位 全体に植物根混入する 3.00mより腐植物を混入する。	1.45	30	30					2	1.45		
3				2.15				1	1							2.45	2.45	
4		4.00	2.60		ローム	茶褐	含水-大位 全体に粘土分混入する	2.45	30	30					3	3.15		
5				3.15				1	1							3.55	3.55	
6					細砂	茶褐	粘性-中位	3.55	40	40					4	4.15		
7				4.15				2	1	1						4.45	4.45	
8					軽石	茶褐	4.5m付近より砂分混入する。	4.45	30	15	15				5	5.15		
9				5.15				1	1							5.55	5.55	
10		5.30	0.20		ローム	茶褐	含水-中位~大位 若干粘土質を呈し軟らかい。	5.55	40	40					6	6.15		
11				6.15				4	1	1	2					6.45	6.45	
12					砂礫	茶褐	含水-大位 粒径-不均一 全体に粘土化を呈す。	6.45	30						7	7.15		
13				7.15				50	50							7.23	7.23	
14					砂礫	茶褐	含水-大位 粒径-不均一 全体に粘土化を呈す。	7.23	8	8					8	8.15		
15				8.15				50	50							8.22	8.22	
16					砂礫	茶褐	含水-中位~大位 全体に粘土分混入する。 又、全体に軽石混入する。	8.22	7	7					9	9.15		
17				9.15				50	48	2						9.26	9.26	
18					砂礫	茶褐	含水-中位 主体礫径 $\phi$ 20~40mm 全体に腐灰質を呈し縮まっている。 8.0m付近より透水性を有し若干崩壊する。 最大礫径 $\phi$ 150mm程度	9.26	11	1					10	10.15		
19				10.15				50	50							10.23	10.23	
20		10.23						10.23	8	8								

備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンウォールサンブラー F: フォイルサンブラー  
P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー  
D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 (仮称) 篠井地区市民センター新築工事に伴う地質調査

調査年月日 / 年 7 月 / 5 日

調 査 地 点 宇都宮市下小池町464-2外

標 高  $KBM=0.177$  m

~ / 年 7 月 / 6 日

ボーリング孔: No. 2

機種 KR-100

孔内水位(自然, 飽)  $GL-5.20$  m 調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験					採取試料・原位置試験					
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	打撃回数 貫入層 m/cm	10 cm ごとの 打 撃 回 数			74 $\mu$ m 通過質量百分率 (%) N 値		試料 番号	測定 番号	深さ m	方注1) 注2)
0		0.10	0.10	△△△	表土	茶褐	シルト及びロームの混合土である。 含水一中位											
1		0.80	0.70	△△△	軽石	黄褐		1.15	1	1					1	1.15		
2		1.50	0.80	△△△	軽石	赤褐	シルト質土である。 含水一中位 全体に植物根混入する	1.45	30	30					2	1.45		
3		2.30	0.80	△△△	軽石	赤褐		2.15	1	1					2	2.15		
4		3.00	0.70	△△△	軽石	赤褐	七本桜軽石層である。 含水一中位 粒径 $\phi$ 2mm程度で均一である。	2.65	50	50					3	2.65		
5		3.70	0.70	△△△	軽石	赤褐		3.15	3	1	1	1			3	3.15		
6		4.40	0.70	△△△	軽石	赤褐		3.45	30						3	3.45		
7		5.10	0.70	△△△	軽石	赤褐		4.15	3	1	1	1			4	4.15		
8		5.80	0.70	△△△	軽石	赤褐		4.45	30						4	4.45		
9		6.50	0.70	△△△	軽石	黄褐	今市軽石層である。 粒径 $\phi$ 10~15mm 含水一大位	5.15	0	0					5	5.15		
10		7.20	0.70	△△△	軽石	黄褐	粒径 $\phi$ 10~15mm 含水一大位	5.65	50	50					5	5.65		
11		7.90	0.70	△△△	軽石	黄褐	全体に $\phi$ 1~2mmの礫介在する。	6.15	6	2	2	2			6	6.15		
12		8.60	0.70	△△△	軽石	黄褐		6.45	30						6	6.45		
13		9.30	0.70	△△△	軽石	黄褐	含水一大位 若干粘土質を呈す。 全体に軽石混入する。	7.15	49	2	21	26			7	7.15		
14		10.00	0.70	△△△	軽石	黄褐		7.45	30						7	7.45		
15		10.70	0.70	△△△	軽石	黄褐	全体に粘土化を呈す。 含水一大位	8.15	50	50					8	8.15		
16		11.40	0.70	△△△	軽石	黄褐		8.23	8	8					8	8.23		
17		12.10	0.70	△△△	軽石	黄褐	全体に粘土化を呈す。 含水一大位	9.15	50	47	3				9	9.15		
18		12.80	0.70	△△△	軽石	黄褐		9.26	11						9	9.26		
19		13.50	0.70	△△△	軽石	黄褐	含水一大位 全体に粘土分混入する。 又有機物混入する。	10.15	50	50					10	10.15		
20		14.20	0.70	△△△	軽石	黄褐		10.24	9	9					10	10.24		
21		14.90	0.70	△△△	軽石	黄褐	含水一中位 主体礫径 $\phi$ 20~40mm 全体に凝灰質を呈し 縮まっている。 8.0m付近より玉石介在する。 玉石径 $\phi$ 100~150mm内外											

備考

注1) 試料採取方法の記号  
 T: シンウォールサンブラー F: フォイルサンブラー  
 P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー  
 D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号